

参考資料

平成28年2月29日
資源エネルギー庁

(1) 国民理解の醸成

国民の関心・意見に丁寧に
応えていく形で全国的な
対話活動を推進

きめ細かな地域対応、
次世代層・女性層への
アプローチ拡大も意識

関連する意見等を
WGの検討に反映

WGでの検討成果を
対話活動に反映

全国シンポジウム等を通じて、
国民に積極的に意見等を求める
(+自治体への情報提供・意見交換)

関連する意見等を
WGの検討に反映

対話活動の更なる継続

(2) 地域対応の充実

地域対話の進め方
の具体化

地域支援のあり方検討

本WGで今春までに検討、考え方を整理

(3) 科学的有望地の検討

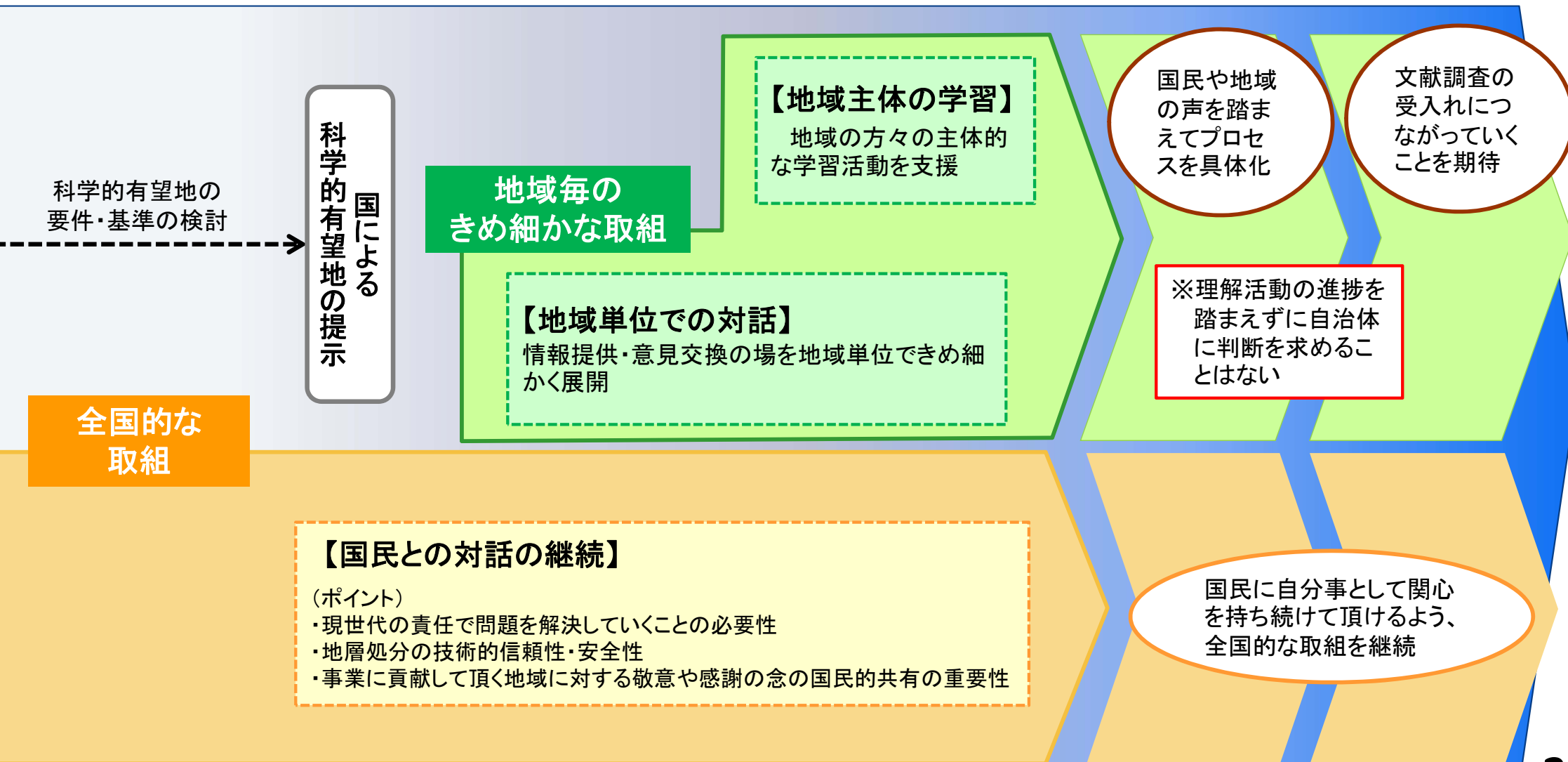
技術WGの検討成果
の精緻化

社会科学的観点の扱い

国民の声を踏まえた再検討、
今後の進め方の整理

○まずは国民や地域の方々と丁寧な対話を積み重ね、関心を持っていただくことに注力。
その中から、地域の方々が主体的に学習活動を始めて頂くことを期待。

国民的な議論と地域の関心・理解の深まり



資源エネルギー庁及びNUMOの当面の主な対話活動予定

○これまでに国民から示された関心や意見を踏まえ、以下の対話活動を実施予定。
⇒成果については、今後のWGで紹介予定。

国際的知見 の共有

国際シンポジウム いま改めて考えよう地層処分～世界の取り組みから学ぶ～

- ・高レベル放射性廃棄物の最終処分に向けた国際的な議論の経緯や各国の取組状況を紹介
- ・スウェーデンのエストハンマル市長及びSKB副社長を招き、その経験等を踏まえ、日本として何を学ぶべきか考えるパネルディスカッションを実施

→ 3月28日(月)[東京]

地域対応

地層処分フォーラム ～対話活動のこれからを考える～

- ・今後の対話活動のあり方をテーマとした参加者との意見交換及び専門家のパネルディスカッションを実施

→ 3月20日(日)[東京]

女性 ・ 次世代層

女性を対象とした広聴活動 ～生活とエネルギーを考えるワークショップ～

- ・これまでの活動では必ずしも多くの参加を得られなかった女性を対象に、この問題に関する意見や、これまでのNUMOの取組に対する御意見を聴取

→ 3月4日(金)[東京]、8日(火)[大阪]

教育関係者による全国研修会 ～処分問題の授業化を考える～

- ・学校授業で最終処分の問題を取り扱うことを目指し、各地で研究会を開催している教育関係者約100名が全国から一堂に集い、それぞれの成果を共有し合い、意見交換を行う

→ 3月20日(日)[東京]